

健ガカナビ

第49回

マイコプラズマ肺炎は、細菌による呼吸器の感染症です。国立感染症研究所の調査によると、患者さんの約8割は14歳以下の小児ですが、大人の発症もみられます。

肺炎と聞くと重い病気を思い浮かべますが、感染に気づかず、軽症の気管支炎程度で自然治癒することも多い病気です。ただし中には肺炎となり、重症化する場合があります。

感染経路は、感染した人の咳のしぶきを吸い込む飛沫感染で、初期症状は発熱と頭痛、全身倦怠感(だるさ)、痰の少ないしつこい乾いた咳です。感染してから発症するまで10日〜3週間と潜伏期間が長いのも特徴です。最近ではマイコプラズマの迅速検査が保険で認可され、その場で診断できるようになりました。

治療は抗生物質を内服しますが、近年、抗生物質が効かない薬剤耐性(AMR)のマイコプラズマも流行しています。

マイコプラズマにはワクチンがないので、予防には普段からの手洗いが大切です。咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど咳エチケットを守りましょう。また、長引く咳などの症状があるときは、医療機関で診察を受けるようにしましょう。

咳エチケットで マイコプラズマ肺炎の 感染予防を



タカちゃん

タカちゃんパパ

タカちゃんママ

監修

慶應義塾大学感染制御センター教授

長谷川 直樹

高田製薬株式会社

〒336-8666 埼玉県さいたま市南区沼影1丁目11-1

高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合った医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。